



平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概要

平成19年9月28日

上場会社名 株式会社 ミルボン 上場取引所 東証一部
 コード番号 4919 URL <http://www.milbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鴻池 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 重宗 昇 TEL (06)6928-2331

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成18年12月21日～平成19年9月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	13,244	1.7	2,604	△ 8.0	2,416	△ 8.7	1,016	△ 40.0
18年12月期第3四半期	13,021	6.1	2,829	△ 3.0	2,645	△ 3.4	1,693	4.1
18年12月期	17,619	4.5	3,791	△ 0.8	3,540	△ 2.0	2,189	0.2

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	81	10	—	—
18年12月期第3四半期	135	12	—	—
18年12月期	174	63	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
19年12月期第3四半期	18,343	14,037	76.5	1,119	99			
18年12月期第3四半期	18,157	13,554	74.6	1,081	43			
18年12月期	18,386	14,065	76.5	1,122	22			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
19年12月期第3四半期	1,626	△ 475	△ 979	709				
18年12月期第3四半期	2,028	△ 2,746	40	238				
18年12月期	2,700	△ 3,004	△ 78	533				

2. 平成19年12月期の連結業績予想 (平成18年12月21日～平成19年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,872	7.1	3,917	3.3	3,576	1.0	1,722	△ 21.3	137	41

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]



※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】
1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における美容業界は、美容室の主力メニューである染毛剤市場においては、ファッションカラーからおしゃれな白髪染めに中心が変化しつつあり、またホームユースのヘアケア用剤部門においても、一般市場から高価格帯のシャンプー・トリートメントが発売され、一般市場との垣根が低くなり、競合が激しくなっております。さらにパーマ市場においてもホット系パーマのブームも一段落した結果、業界全体としては横ばいであったと推測しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、4 月に発売した新製品「オルディープ」の拡販に努めてまいりました。事前の活動が十分に出来たことで美容室への導入も順調に進み、売上は計画を大きく上回ることが出来ました。しかし、活動が「オルディープ」に集中したことや、ヘアケア用剤部門とパーマメントウェーブ用剤部門の新製品「プレジューム」の発売が 9 月であり、当第 3 四半期への売上への貢献は小さく、売上高は微増の結果となりました。

100%子会社である MILBON USA, INC.は、サロンへのダイレクトな販売活動が始まったことや、新製品の導入効果もあったことで、微増で推移いたしました。

その結果、連結売上高は 132 億 44 百万円（対前年同期比 1.7%増）で前年同期と比較して 2 億 22 百万円の増収となりました。

販売費及び一般管理費は、大型新製品「オルディープ」の初期費用を戦略的に投入したことで、前年同期を大きく上回り 60 億 94 百万円で対前年同期比 9.7%増となりました。

これらの結果、営業利益は 26 億 4 百万円（対前年同期比 8.0%減）で 2 億 25 百万円の減益、経常利益は 24 億 16 百万円（対前年同期比 8.7%減）で 2 億 29 百万円の減益、四半期純利益は 10 億 16 百万円（対前年同期比 40.0%減）で 6 億 77 百万円の減益となりました。

部門別売上高は次の通りです。

（単位：百万円）

部 門	前第 3 四半期連結会計期間		当第 3 四半期連結会計期間		増減額
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
パーマメントウェーブ用剤	1,711	13.2	1,564	11.8	△146
ヘアケア用剤	6,249	48.0	6,058	45.8	△191
染毛剤	4,795	36.8	5,355	40.4	559
その他	265	2.0	265	2.0	0
合 計	13,021	100.0	13,244	100.0	222

（パーマメントウェーブ用剤部門）

様々なホット系パーマ剤が発売されましたが、パーマの根本的な問題の解決には至らず、業界全体としては減少傾向が継続していると推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、カラーによるダメージ毛にも安心してパーマがかけられる新製品「プレジューム パーマ セレクション」を 9 月に発売いたしました。製品に対する美容室の評価は高く、着実に美容室へ導入されておりますが、販売期間が短いこともあって売上への貢献は充分ではありませんでした。

また、ストレートパーマ剤の主力アイテム「リシオ ラルーチェ」に対し、競合他社から新製品が投入されたこともあり、ストレートパーマが苦戦しており、その結果、前年同期を下回る結果となりました。

（ヘアケア用剤部門）

美容室専用品と一般市場の製品の垣根が低くなり、品質だけの訴求では、差別化が難しい状態になってきております。特に、ホームユースのシャンプー・トリートメント市場において、一般市場から高価格帯の製品が多く発売され、積極的な宣伝活動などの影響もあり、美容室のプロユースの製品との競合が激しくなっております。また、サロンで施術する高効果トリートメントメニューも一巡し、業界全体としては横ばいであったと推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、活動が「オルディープ」に集中することもあり、ミニサンプル等を活用したプロモーションを企画いたしました。効果等の検証が充分でなく、展開が遅れてしまいました。

また、9 月に発売した新製品「プレジューム フォーム セレクション」を発売いたしました。活動期間が短かったこともあり、十分な成果には繋がらず、前年同期を下回る結果となりました。



(染毛剤部門)

30歳～40歳代のミドルへのファッションカラーの広がりや、団塊ジュニアを中心とした、おしゃれな白髪染め市場の拡大があり、業界全体としては微増であったと推測しております。

その様な状況のもと、当社グループといたしましては、4月に新製品「オルディープ」を発売し、積極的な拡販を図りました。十分な事前活動が成果に繋がり、当初の販売計画を大きく上回ることが出来ました。また、おしゃれな白髪染め「レフィナ」も依然好調で染毛剤部門を大きく伸長することができました。

(その他)

特筆すべき事項はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期終了時点における財政状態は、前期末と比べ総資産は42百万円の減少、負債は13百万円の減少、純資産は28百万円の減少となりました。

資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加1億75百万円、たな卸資産の増加3億1百万円、投資有価証券の減少5億41百万円などがあげられます。

負債の主な変動要因は、長期未払金の増加6億68百万円、未払法人税等の減少4億66百万円、長期借入金の減少2億48百万円などがあげられます。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加3億64百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億4百万円があげられます。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

美容業界におきましては、ホームユースのシャンプー・トリートメント市場や、白髪染めの市場において、益々競合が激しくなると推測されます。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、染毛剤部門の主力ブランドであった「フレーブ」を使用している中型サロンへの「オルディープ」の導入を推し進め、国内美容業界の染毛剤市場の20%シェア獲得を目指します。

また、11月に発売される「プレジューム ワックス セレクション」によって、ヘアケア市場の巻き返しを図ることや、「プレジューム パーマ セレクション」の使用サロンの拡大を図ってまいります。厳しい状況のもとではございますが、業績は染毛剤を中心に通期予想に沿った形で推移するものと考えられますので、平成19年7月17日（中間決算発表時）の発表値を継続いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・ 法人税等の計上基準については、税金等調整前四半期純利益を基礎として算定される当四半期の負担すべき税額を計上しております。
- ・ 利息の計算については、現金主義により計上しております。
- ・ たな卸資産については、実地棚卸を行っておらず帳簿金額を計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。



5. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	
(資産の部)									
I 流動資産									
1. 現金及び預金	238,014		709,301		471,286		533,939		
2. 受取手形及び売掛金	2,336,920		2,330,642		△ 6,278		2,501,263		
3. たな卸資産	1,781,748		2,030,647		248,898		1,729,156		
4. その他	413,927		321,980		△ 91,947		240,226		
流動資産合計	4,770,611	26.3	5,392,571	29.4	621,960	13.0	5,004,585	27.2	
II 固定資産									
1. 有形固定資産									
(1) 建物及び構築物	5,342,403		6,429,441				6,372,894		
減価償却累計額	1,940,196	3,402,207	2,244,039	4,185,402	783,194		1,958,270	4,414,623	
(2) 機械装置及び運搬具	3,382,017		3,562,624				3,375,523		
減価償却累計額	1,764,363	1,617,654	2,031,824	1,530,799	△ 86,854		1,803,535	1,571,987	
(3) 土地		4,349,707		4,349,707	-			4,349,707	
(4) 建設仮勘定		973,341		7,084	△ 966,256			904	
(5) その他	1,178,723		1,267,895				1,207,302		
減価償却累計額	944,690	234,032	1,023,231	244,663	10,631		969,215	238,086	
有形固定資産合計		10,576,942		10,317,657	△ 259,285	△ 2.5		10,575,309	57.5
2. 無形固定資産		197,615		253,031	55,415	28.0		223,273	1.2
3. 投資その他の資産									
(1) 投資有価証券		1,811,494		1,232,246	△ 579,248			1,773,657	
(2) その他		812,274		1,160,021	347,746			820,972	
貸倒引当金		△ 11,520		△ 11,570	△ 50			△ 11,570	
投資その他の資産合計		2,612,249		2,380,697	△ 231,551	△ 8.9		2,583,060	14.1
固定資産合計		13,386,807		12,951,386	△ 435,421	△ 3.3		13,381,642	72.8
資産合計		18,157,419		18,343,958	186,538	1.0		18,386,228	100.0



(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	
(負債の部)									
I 流動負債									
1. 支払手形及び買掛金	1,319,362		1,238,384		△ 80,978		1,041,351		
2. 1年以内返済予定の長期借入金	443,952		359,952		△ 84,000		443,952		
3. 未払金	886,016		931,635		45,618		1,033,674		
4. 未払法人税等	669,355		342,446		△ 326,908		808,729		
5. 返品調整引当金	19,642		17,476		△ 2,166		17,476		
6. 賞与引当金	217,417		239,535		22,117		57,003		
7. 役員賞与引当金	30,507		-		△ 30,507		44,306		
8. その他	296,155		298,837		2,681		231,145		
流動負債合計	3,882,410	21.4	3,428,267	18.7	△ 454,142	△ 11.7	3,677,638	20.0	
II 固定負債									
1. 長期借入金	392,321		32,369		△ 359,952		281,333		
2. その他	328,154		846,154		518,000		361,679		
固定負債合計	720,475	4.0	878,523	4.8	158,048	21.9	643,012	3.5	
負債合計	4,602,885	25.4	4,306,791	23.5	△ 296,094	△ 6.4	4,320,651	23.5	
(純資産の部)									
I 株主資本									
1. 資本金	2,000,000		2,000,000		-		2,000,000		
2. 資本剰余金	200,013		200,076		63		200,049		
3. 利益剰余金	10,816,419		11,676,359		859,940		11,311,667		
4. 自己株式	△ 36,413		△ 38,686		△ 2,273		△ 37,292		
株主資本合計	12,980,019	71.5	13,837,749	75.4	857,730	6.6	13,474,424	73.3	
II 評価・換算差額等									
1. その他有価証券評価差額金	563,682		170,042		△ 393,639		574,119		
2. 為替換算調整勘定	10,832		29,374		18,541		17,033		
評価・換算差額等合計	574,515	3.1	199,417	1.1	△ 375,097	△ 65.3	591,152	3.2	
純資産合計	13,554,534	74.6	14,037,167	76.5	482,632	3.6	14,065,576	76.5	
負債純資産合計	18,157,419	100.0	18,343,958	100.0	186,538	1.0	18,386,228	100.0	



(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)		当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成18年12月期)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	13,021,777	100.0	13,244,168	100.0	222,391	1.7	17,619,659	100.0
II 売上原価	4,634,244	35.6	4,544,905	34.3	△ 89,338	△ 1.9	6,316,099	35.9
売上総利益	8,387,533	64.4	8,699,263	65.7	311,729	3.7	11,303,560	64.1
III 販売費及び一般管理費	5,557,551	42.7	6,094,413	46.0	536,861	9.7	7,512,340	42.6
営業利益	2,829,981	21.7	2,604,850	19.7	△ 225,131	△ 8.0	3,791,219	21.5
IV 営業外収益								
1. 受取利息	2,564		3,740				3,801	
2. 受取配当金	11,593		11,049				19,841	
3. 投資有価証券売却益	4,139		-				4,139	
4. 企業立地奨励金	-		29,911				-	
5. 事業税還付金	18,700		-				18,700	
6. 仕入割引	12,778		-				13,230	
7. 社宅負担金	14,921		21,287				20,571	
8. その他	16,415	81,114	19,323	85,312	4,197	5.2	21,983	102,268
V 営業外費用								
1. 支払利息	5,033		5,218				6,351	
2. 投資有価証券売却損	2,033		-				2,033	
3. 売上割引	257,411		266,824				343,631	
4. その他	1,342	265,820	1,955	273,998	8,178	3.1	1,471	353,488
経常利益	2,645,275	20.3	2,416,163	18.2	△ 229,111	△ 8.7	3,540,000	20.1
VI 特別利益								
1. 投資有価証券売却益	253,307		153,244				260,306	
2. 貸倒引当金戻入額	16,970	270,278	-	153,244	△ 117,033	△ 43.3	16,970	277,277
VII 特別損失								
1. 固定資産売却損	117		4,989				117	
2. 固定資産除却損	5,234		2,843				101,798	
3. 投資有価証券評価損	5,773		13,760				14,764	
4. 役員退職慰労金	-		729,105				-	
5. 支店移設費	-	11,125	60,800	811,498	800,373	7,194.3	19,500	136,180
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,904,429	22.3	1,757,910	13.3	△ 1,146,518	△ 39.5	3,681,097	20.9
法人税、住民税及び事業税	1,370,990		1,074,939				1,494,684	
法人税等調整額	△ 160,359	1,210,630	△ 333,467	741,471	△ 469,159	△ 38.8	△ 2,632	1,492,051
四半期(当期)純利益	1,693,798	13.0	1,016,438	7.7	△ 677,359	△ 40.0	2,189,046	12.4